

2011.9.19

ふくしま復興フォーラム2

# 協働で取り組む復興

フクシマの再生に向けて

東北コミュニティの未来・志縁プロジェクト

中山 弘

## 住民の想い

### 復興はまず除染から

- ◎ 自分の家で暮らせる
- ◎ 子どもが安心できる
- ◎ 孫と一緒に暮らせる

### 街に活気が戻って欲しい

- ◎ 身近に働く場がある
- ◎ 企業が戻ってくる
- ◎ 田畑で作物が作れる  
〃 〃 売れる

## 住民の悩み

### どうも良く分からない

- 周りの線量はいくつなの？
- いくつなら安心してよいの？

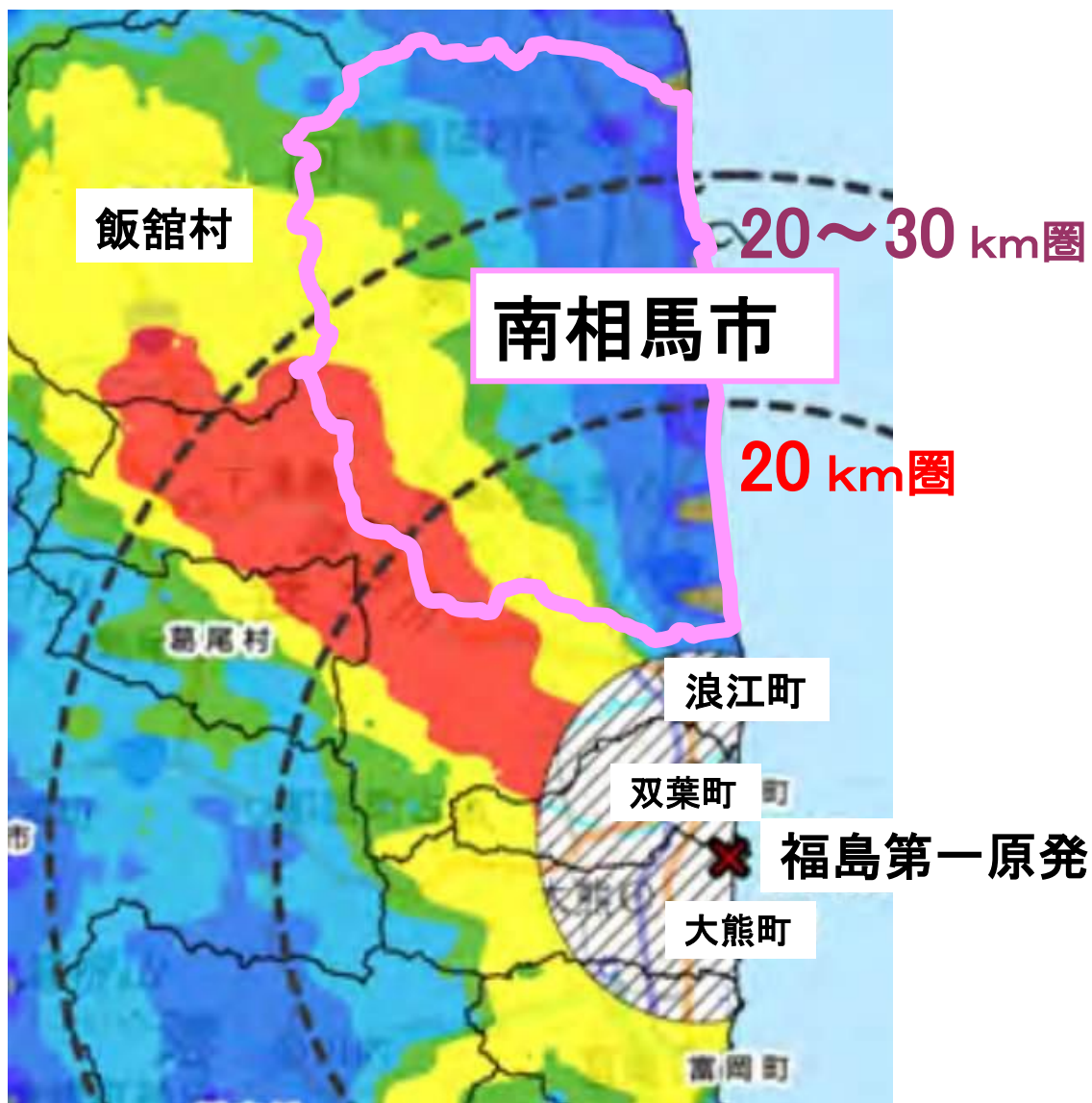
※ 私たちはモルモットなの？

- 誰が除染するの？
- 誰が費用を払うの？

※ 私たちが起こした事故でもないのに、なんで自分たちでやるの？

★ 福島原発の電気は東京のため

# ● 線量を どう かんがえるの



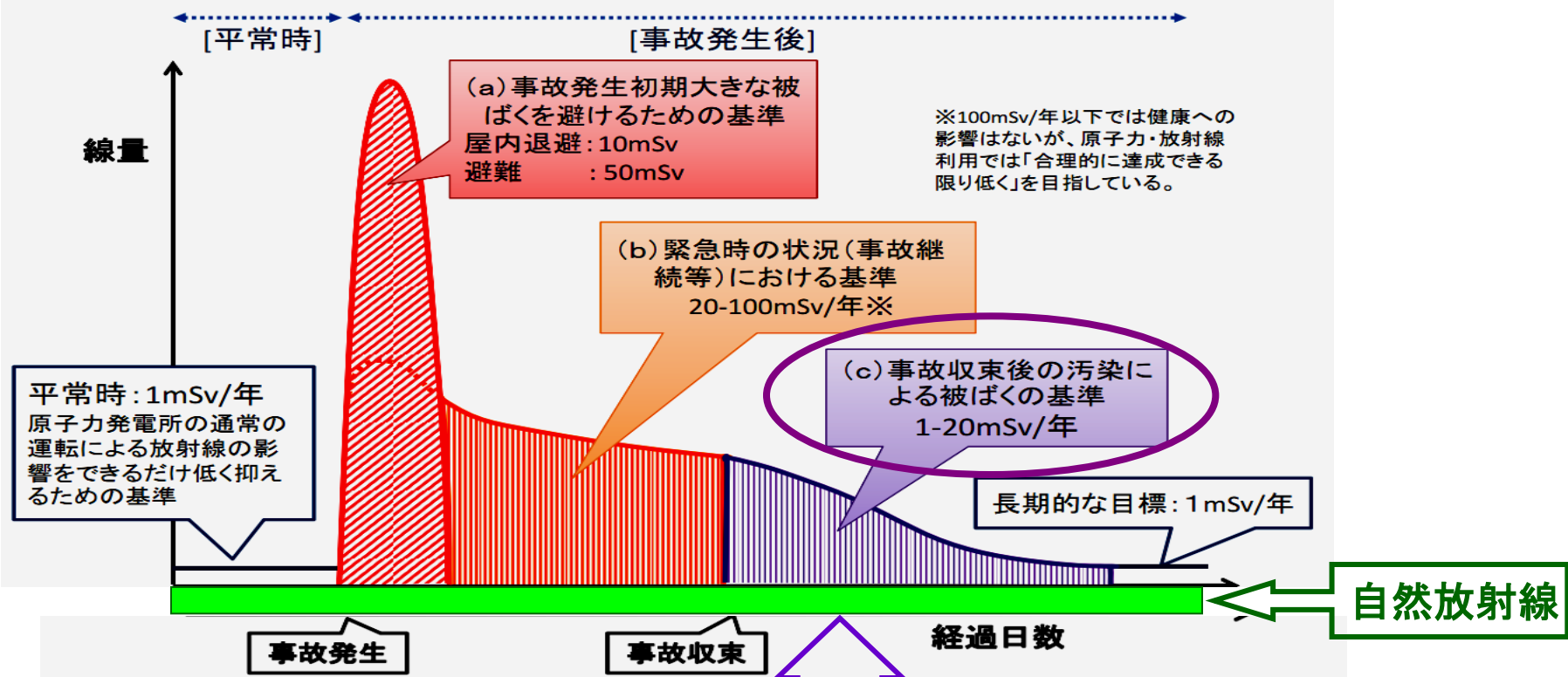
■ 南相馬市の線量は  
一様ではない

■ 西高東低  
・山側は高く  
・海側は低い

# 住民の悩み

原子力安全委員会

## ● 線量基準をどうかんがえるの



[http://www.nsc.go.jp/info/20110411\\_2.pdf](http://www.nsc.go.jp/info/20110411_2.pdf)

事故収束期に入り、緊急時避難準備地域を解除すると言われても  
線量がいくつになったら、子どもが戻ってきていいの？  
・・・20mSV～1mSV のどこまで下げればよいの？

# 除染の取組みが目指したい姿

## 住民と行政が協働



順番は **公共施設** ⇒ **家屋** ⇒ **田畑** ⇒ **森林**

# 除染の取組みの現状 イメージ

現在は、各専門家のもとで それぞれに活動

**東大  
アイトープ研**

**学校**  
教育委員会  
公共施設



**東大  
医科学研**

**家屋**  
医師会  
除染団体



**JAEA  
クリーンアップ  
分科会**

**田畑**  
JAそうま  
商工会



- 計測法
- 除染手法
- 目標の考え方
- 廃棄物処理法

個人

個人

団体

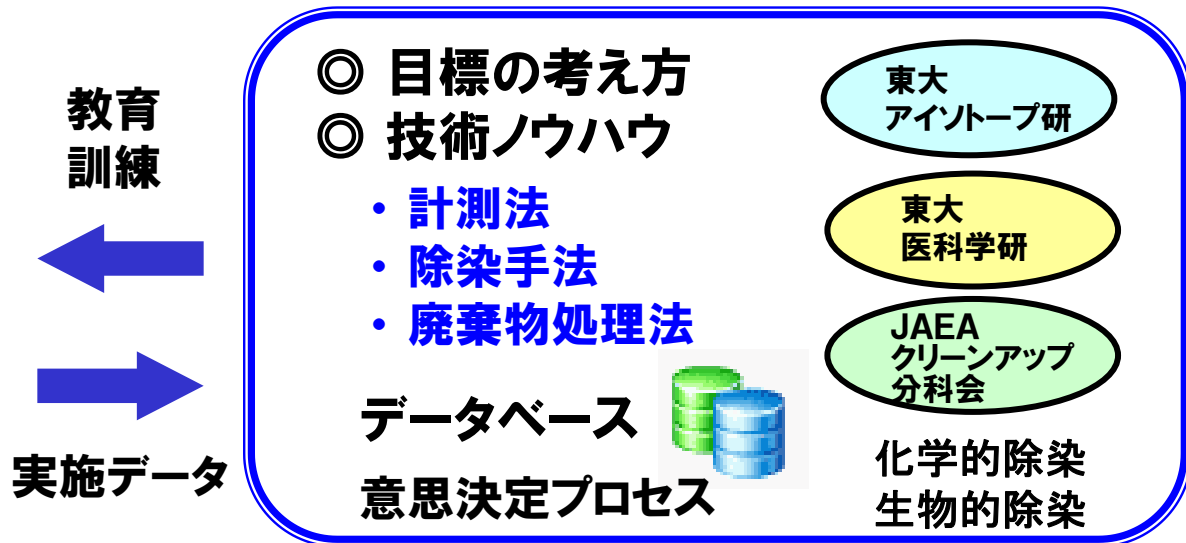
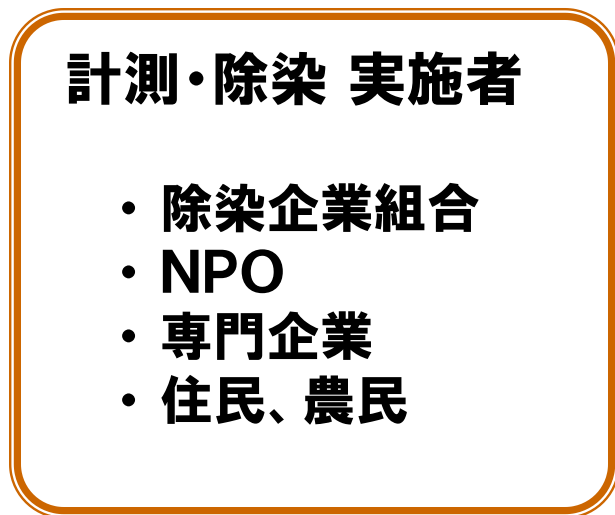
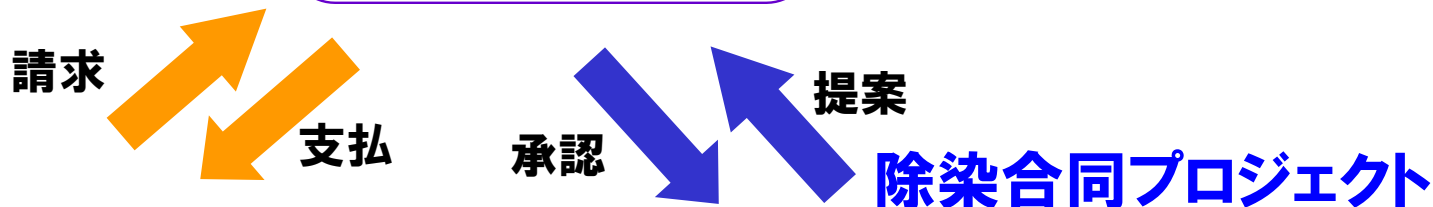
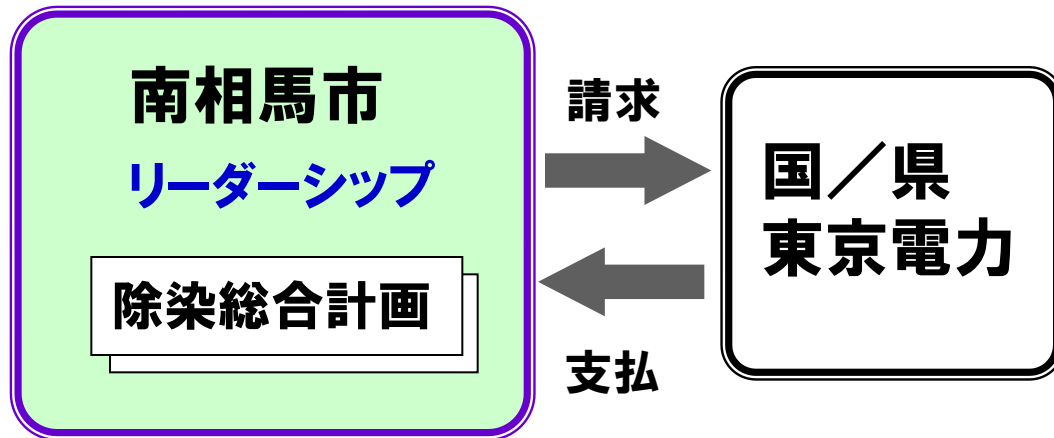
団体

個人

◎ 住民には戸惑いが生じてます

◎ 除染の「質」はどうやって確保するんだろう

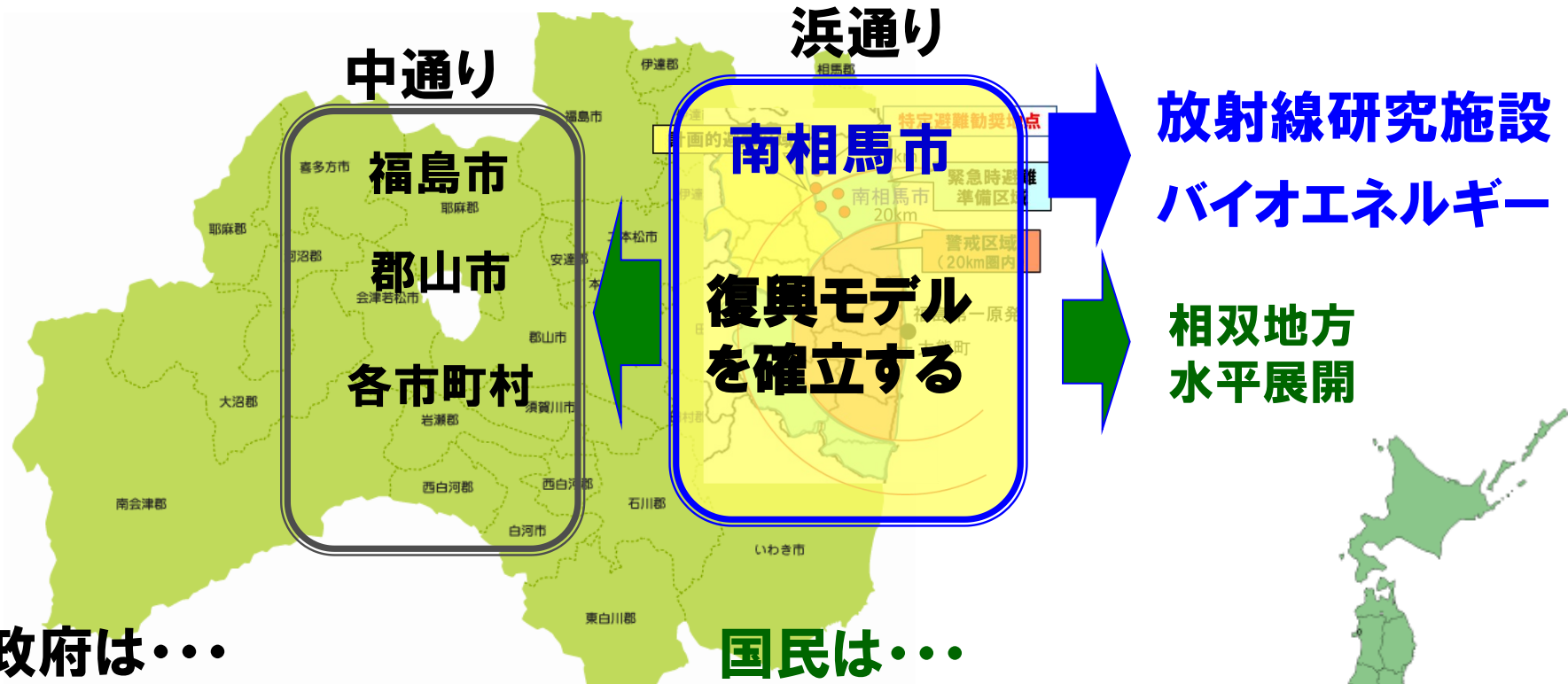
# 除染の取組みが目指したい姿





# フクシマの再生なくして、ニッポンの再生なし

地震＋津波＋四つの放射能区分が混在＝「フクシマの縮図」  
⇒ 南相馬市から発進 ⇒ 発信



政府は・・・

- ◎ 除染に全力で取り組む
- ◎ 叡智を結集する
- ◎ 予算をきちんと確保する
- ◎ 世界に発信する

国民は・・・

- ◎ 自分のこととして捉える
- ◎ 共感し一緒に行動する
- ◎ 費用を負担する
- ◎ 風評に流されない



# 協働で取り組む復興に向けて

---

## 原子力災害を克服し、世界に発信する安全・安心の街づくり

- ◎ 国／県 — 予算確保
- ◎ 市 — 合同プロジェクトでリード
- ◎ 市民 — 住民が中心となって  
除染・復興・街づくり
- ◎ 都会人 — 自分のことと捉えて  
一緒になって取り組む  
～ヒト、モノ、カネ、風評

復興しようとする「志」の「縁」でつながって、  
協働していこうではありませんか！

フクシマの再生なくして、ニッポンの再生なし